

製品名: MAP2 マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM84992

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|---|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | IHC, ICC |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | Mouse IgG1 |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.05% アジ化ナトリウム、0.5% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--------------------------------|
| 希釈倍率 | IHC 1:50-1:100, ICC 1:50-1:200 |
| 分子量 | / |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | MAP2 |
| 別名 | Microtubule associated protein 2; MAP2A; MAP2B; MAP2C |
| 遺伝子 ID | 4133.0 |
| SwissProt ID | P11137 |
| 免疫原 | MAP2 の合成ペプチド |

背景

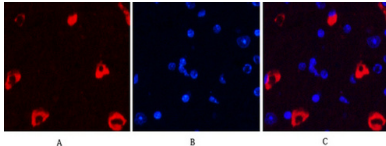
MAP2 の正確な機能は不明ですが、MAP は微小管の脱重合を安定化させる可能性があります。また、微小管を硬化させる作用もある

ようです。

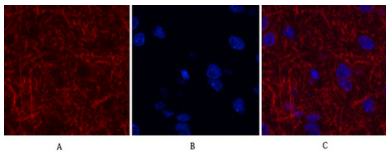
研究分野

-

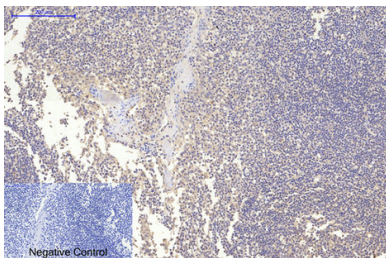
画像データ



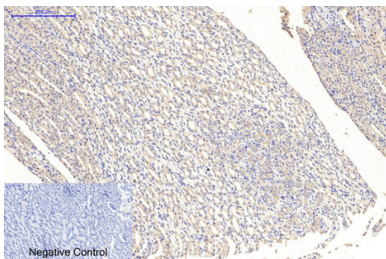
MAP2 抗体(7D4)(赤)および DAPI(青)を使用したマウス脳組織中の MAP2 の免疫蛍光分析。



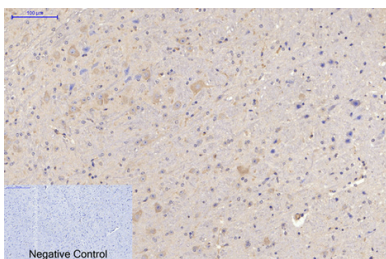
MAP2 抗体(7D4)(赤)および DAPI(青)を使用したラット脳内の MAP2 の免疫蛍光分析。



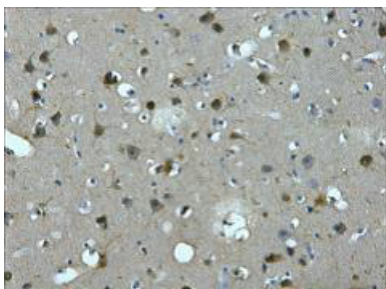
MAP2 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高压高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。ネガティブコントロールは二次抗体のみを使用しました。



MAP2 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高压高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。ネガティブコントロールは二次抗体のみを使用しました。



MAP2 抗体を用いたパラフィン包埋マウス脳組織の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高压・高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。ネガティブコントロールとして、二次抗体のみを用いた。



MAP2 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高压高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。

